

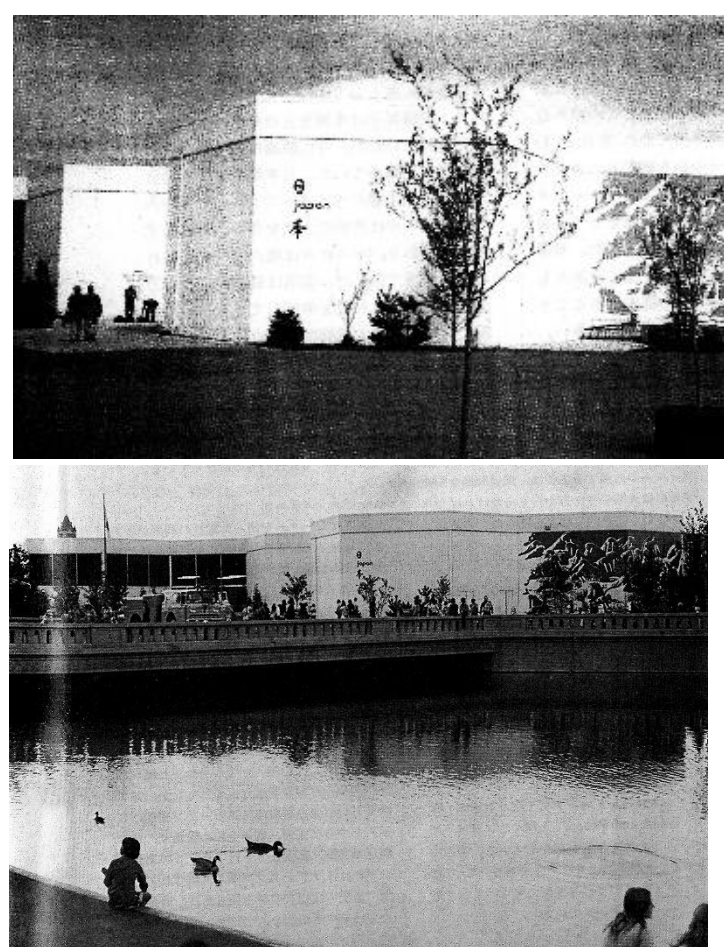
# 展示映像の記録・保存・デジタル化事業

一般社団法人展示映像総合アーカイブセンター

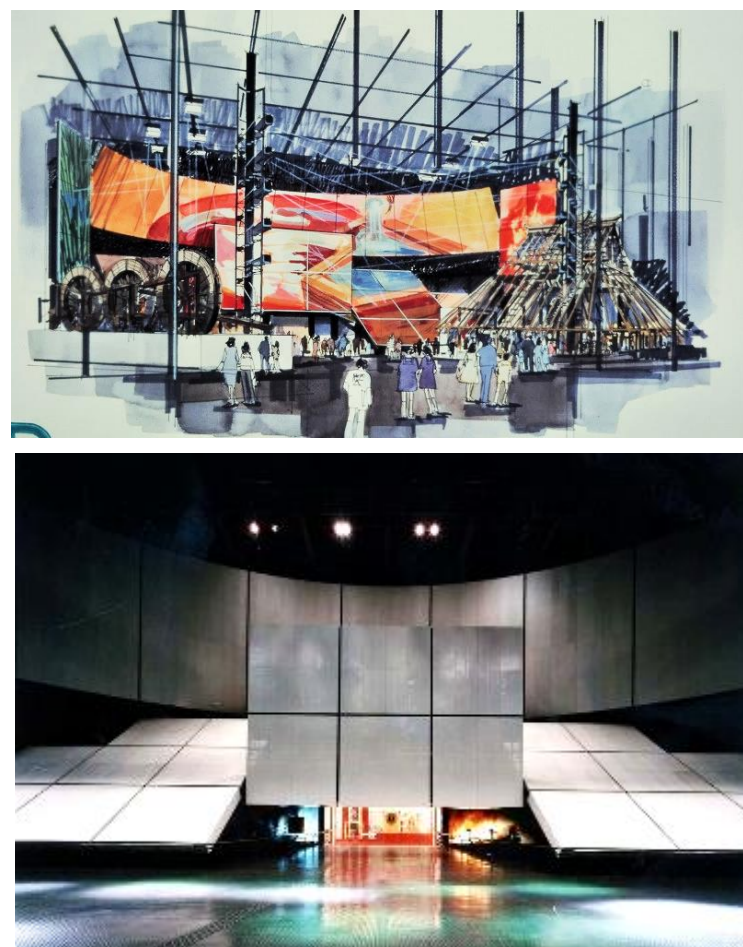
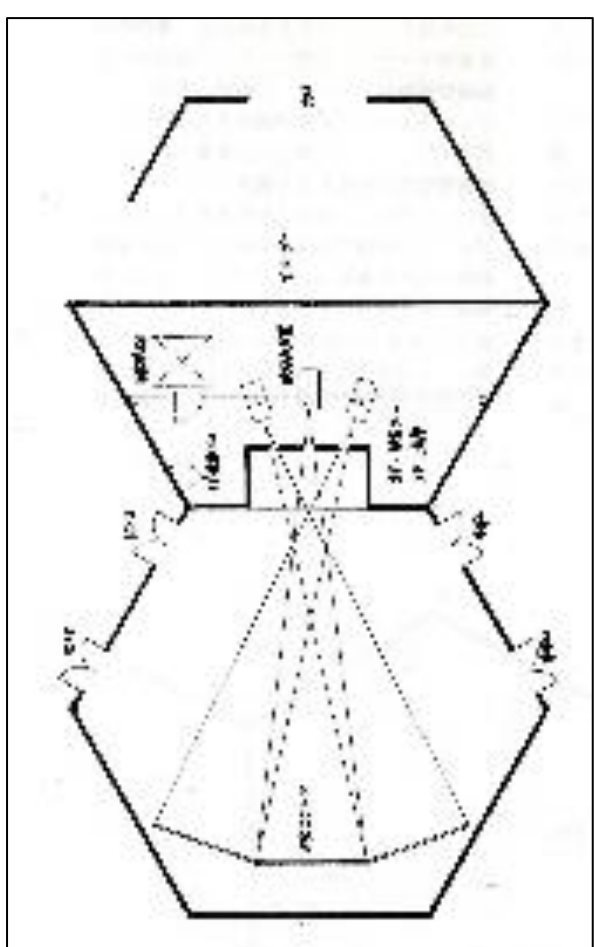
## 概要

博覧会、展示会等のイベントや、文化施設、商業施設等で上映される「展示映像」は上映期間を終えると、作品の多くは上映空間や機材が撤去されることもあり、総合的に保存されることはまれである。同時代の映像技術や表現の先進的な側面を持ちながら、アーカイブされることはなかった。本事業では一社)展示映像総合アーカイブセンターにて保有している展示映像の中から、フィルムの劣化が危惧される次の3作品の資料整理、デジタル化をおこない、メタデータと成果の一部をセンターのホームページにて公開することを作業目標とする。

- (1) 『日本・人と自然』1974年スポークン国際博覧会日本館 (35mm×3面マルチ映像, 15分) 16mm縮小版対象
- (2) 『鉄と稲』1985年つくば科学万博歴史館 (スライド4×4判, ライカ判, 70mm8p, 8分) 内スライド対象
- (3) 『時空を超えて～石炭エネルギーの旅～』1995年大牟田市石炭産業科学館 (3面マルチスライド, 14分)



(1)日本館の外観と映像ホールの平面図



(2)歴史館スクリーン



(3)石炭産業科学館の映像ホール



## 体制

事業推進にあたりデジタル化のうち(1)は映画フィルムに対応できる複数社のなかからイマジカを選定し作業を進めた。(2)(3)はフィルムスライド保存状況の確認、クリーニング、整理、スキャニング、データ整理等の作業があり、かつ膨大なフィルムを一時的に保管する必要があることから、九州大学芸術工学部と協働で実施した。また展示映像のアーカイブ事業全般に関して助言を得るために5名の専門家にヒアリングした。

## 成果

### 『日本・人と自然』

35mm原版から縮小プリントされた3本の16mmフィルムを4Kテレシネにてデジタル版に変換した。データはDSM/DPX、UHD/ProRes422HQ、およびチェック用にHD/MP4を取得した。また簡易的な視聴が可能となるようにHDにて3面合成版を制作した。



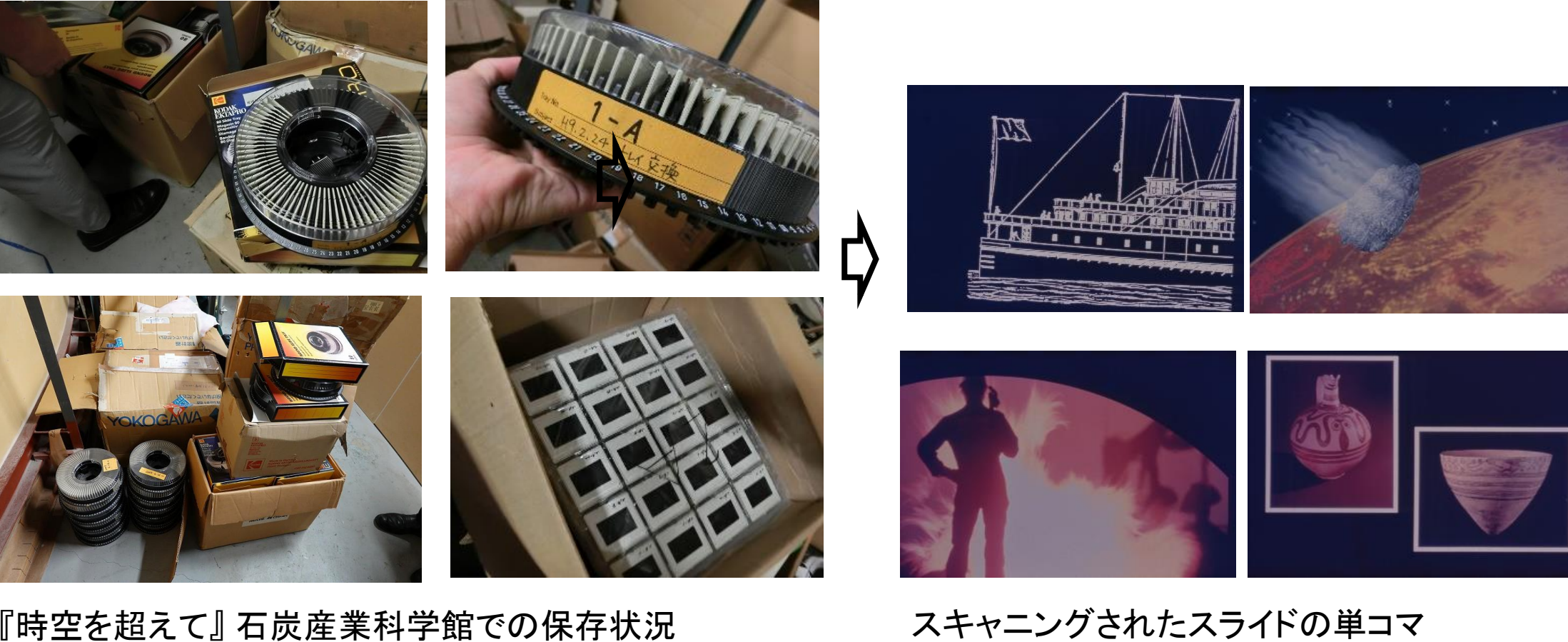
### 『鉄と稲』

およそ37年の時間経過による汚損もあり、マウントのままのスキャニングは不可能だったため、専用スキャンホルダの製作からはじめた。データは設定として高画質TIF (4327×2917) である。これをデジタル版のオリジナルとして保存した。全1887コマ中954コマが完了。



### 『時空を超えて～石炭エネルギーの旅～』

ガラスマウントは汚れがひどく、ガラスをクリーニングしなければならなかった。『鉄と稲』と同様にガラスの破損も発生したため、慎重を期したが、作業効率は非常に悪いなかで進めた。全673コマのスキャニングが完了。データは高画質TIF (4327×2917) とした。これをデジタル版のオリジナルとした。



## 今後の課題

上映環境、映像・音響等のシステム情報を合わせて総合的にアーカイブすること、疑似的な再現方法の検討と部分的公開などである。

<写真資料> JETRO1974年スポークン国際博覧会参加報告書、つくばエキスポセンター、大牟田市石炭産業科学館、電通ライブ、城西国際大学竹藤佳世研究室、(株)バンリ映像、九州大学石井達郎研究室